

平成29年度 第2回安全教育研修の開催

原子力事業所安全協力協定第3条第1項第2号に基づく安全教育に係る協力活動について、「原子力事業所安全協力協定平成29年度年間活動基本計画」に基づき、以下の通り、平成29年度第2回安全教育研修を実施しました。

〔開催日〕 平成30年2月1日（木）

〔参加者〕 17名（協定加盟5事業所）

研修は、東海第二発電所の新規制基準対応として、昨年11月に原子力規制委員会に提出した「原子炉設置変更許可申請の補正書」と「運転期間延長申請書」に関する講話に引き続き、「身の周りの放射線測定体験」と「シミュレータによる発電所の運転体験」の実習が行われました。そして、東海第二発電所の中央制御室実寸モデルによる、3.11の福島第一原子力発電所の状況の再現を見学し、中央制御室内で起こったことを体験しました。原子炉の変化が制御盤に表示され、警報パネルが一斉に点灯し、室内照明や警報パネルが消灯し、制御室内が真っ暗になった状況が体験できました。

研修後に実施したアンケートで、東海第二発電所の近況の講話では、「新規制基準への対応状況が理解出来た」や放射線測定実習では、「身近な例で興味深かった」等の意見もありました。また、シミュレータ運転体験や見学については、「時間が足りなかった」、「臨場感があり事故時の状況が想像できた」等の意見をいただきました。

〔研修会概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について

【実習①】 身の周りの放射線測定体験

【実習②】 シミュレータによる運転体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレータ

【研修風景】



講話「東海第二発電所の近況について」



実習①「身の周りの放射線測定体験」



実習②「シミュレータによる運転体験」

以 上